

活動情報

取組項目	生態系保全に配慮した施設の適正管理		
組織名	仁良川の里保全会	下都賀管内	下野市

活動目的：基盤整備などで田んぼと水路の落差が大きくなり、産卵に遡上できなくなった。その落差を補うため魚道を設置し、田んぼに産卵する性質のあるドジョウ、フナ、ナマズ等の産卵、成育を助け、地域における魚類の生息環境を改善する。

活動内容：水田魚道の設置

平成21年8月2日(日) 午前7時からメダカ里親の会のご協力を得て、地域の中央を流れる江川用水に水田魚道を設置しました。

江川用水は幅8メートル、水路から水田まで高低差が2.2メートルもあるため、角型U字溝(8メートル)と農道暗渠部(7.6メートル)にはポリエチレンパイプ等を使用し、鋼製単管を水路に打ち込み魚道の支えとしました。県内でも規模の大きなものとなり、完成まで4時間を要しました。

今後は、地域の子どもたちとの生きもの調査や生態系保全の学習の場としても活用していきたいと思

